

特定非営利活動法人はみんぐ南河内

<理念>

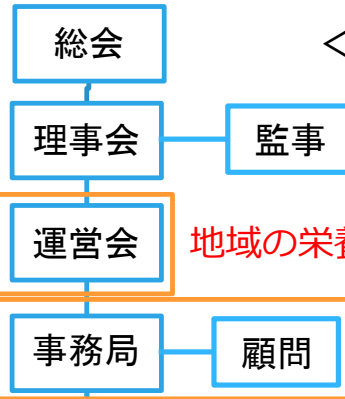
食べる喜びを暮らす喜びへ～いただきますのお手伝い～

事業の種類

①介護保険、障がい福祉サービス事業

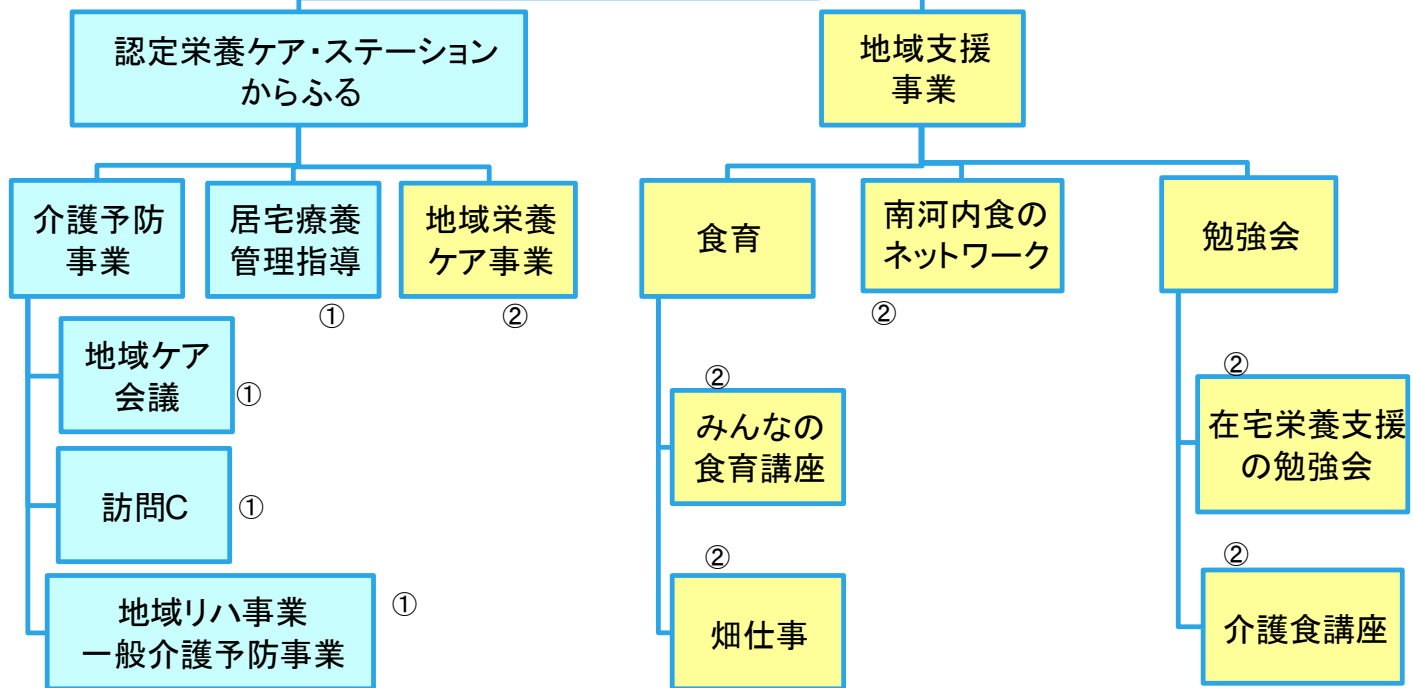
②栄養や食事に関する教育、指導、助言、啓蒙普及事業

<組織図>



地域の栄養支援体制のデザイン

①を行う
管理栄養士のフォロー
Ex. 経理・総務・広報



食べる喜びを暮らす喜びへ ～いただきますのお手伝い～

ご挨拶

日本人の平均寿命は年々伸びていますが、健康寿命との開きは依然大きく、疾病及び加齢を主な原因とした国民医療費は増加の一途にあります。食生活は健康管理の要ですが、めまぐるしい変化を続ける現代社会においては、多様化・個別化が進行し、少子高齢化に伴い食文化の継承も困難となってきました。また、食に無関心な人が増える一方、マスメディアを中心とした情報の氾濫により偏った食生活を送る人も増加しています。

人が個人のライフステージや体に応じた、正しい食に関する知識と情報、スキルを得ることは、健康、人生の喜びにつながります。

そこで、この法人は、地域に住むあらゆるライフステージの人々に、その時々に必要な食と食環境の整備、生活の質の向上にむけた支援を目的とし、平成28年8月に設立しました。

今後も当法人の目指す支援をご理解いただき、会の活動へのご支援をよろしく願っています。

特定非営利活動法人はみんぐ南河内

法人案内

【活動目的】

- ・地域に住むあらゆるライフステージの人々が「食」を通して生命を育み、守り、喜びを共有できること
- ・食に関わる専門職が、専門職として、また住民として地域づくりに関わり、地域住民が、生まれたときから最期を迎えるときまで「その人らしく生きること」ができるように食支援を行う

【沿革】

2013年1月 はみんぐ南河内 発足
 2016年4月 (公社)日本栄養士会モデル事業 認定栄養ケア・ステーション
 2016年8月 特定非営利活動法人 登記
 2019年4月 (公社)日本栄養士会 認定栄養ケア・ステーションからふる

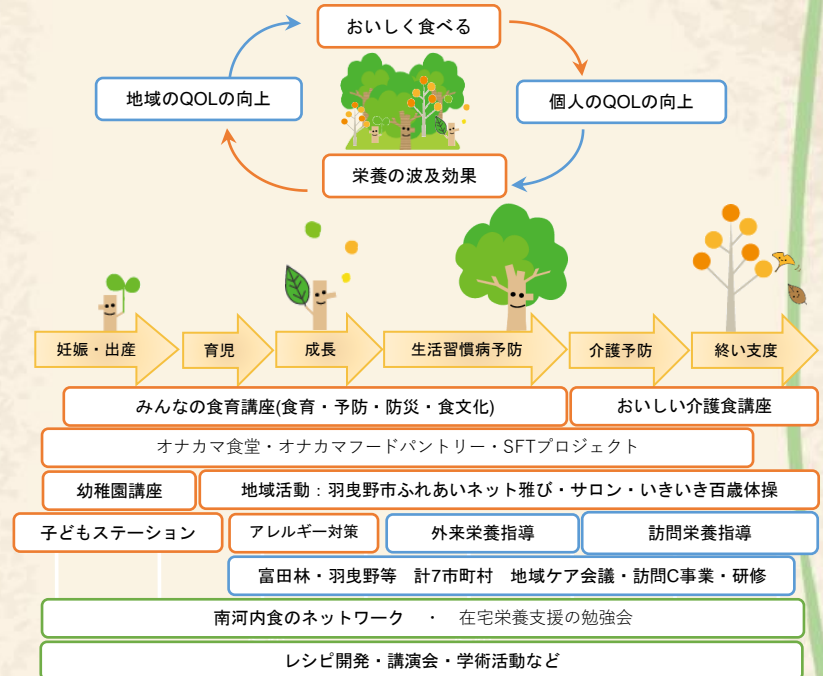
【社員構成】

管理栄養士 社会福祉士
 歯科衛生士 理学療法士 地域住民・・・

活動のご紹介

一食べる・暮らす・地域一

私たちは、様々な栄養支援を提供することによって、生まれる前から旅立つ時まで365日24時間、その人の思う生活を支えるお手伝いをします。



入会案内

特定非営利活動法人はみんぐ南河内は会員のみなさまの年会費で運営しています。活動にご賛同くださる方、ともに活動していただける方のご入会を募集しております。

	入会金	年会費
正会員	1,000円	1,000円(1口以上)
賛助会員(個人)	1,000円	1,000円(1口以上)
賛助会員(専門職)	1,000円	1,000円(2口以上)
賛助会員(法人企業、団体など)	10,000円	10,000円(1口以上)

【振込先】 銀行名 ゆうちょ銀行 店名 四〇八(ヨンゼロハチ)
 店番 408 記号 14060 番号 81325381
 口座番号(普通) 8132538
 特定非営利活動法人はみんぐ南河内 トクヒ)ハミングミナミカワチ

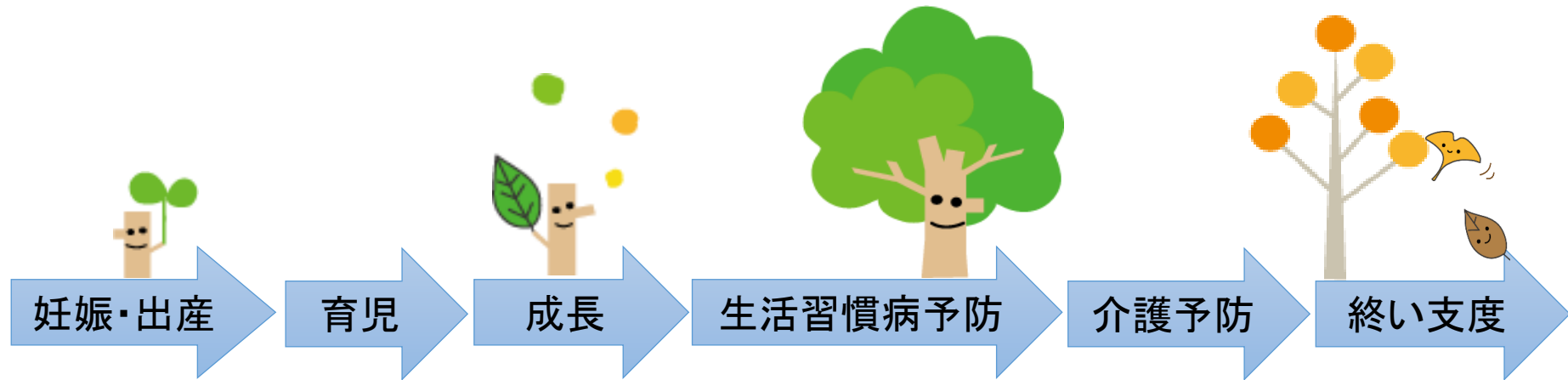
[2021年度事業報告書等.pdf \(npo-homepage.go.jp\)](#)

7 事業の実施状況

1 特定非営利活動に係る事業

- (1) (事業名) 介護保険、障がい福祉サービス事業
(内 容) 訪問栄養食事指導・栄養に関する助言
(実施場所) 患者・利用者宅
(実施日時) 依頼先による
(事業の対象者) 在宅療養中などで栄養・食事の支援が必要な方
(収 入) 1,031,150 円
(支 出) 875,947 円
- (2) (事業名) 栄養や食事に関する、啓蒙普及事業
(内 容) 講演会・研修会など
(実施場所) 依頼先による
(実施日時) 依頼先による
(事業の対象者) 依頼先による
(収 入) 533,227 円
(支 出) 327,572 円

～いただきますのお手伝い～ NPO法人はみんぐ南河内



みんなの食育講座(食育・予防・防災・食文化)

おいしい介護食講座

オナカマ食べようプロジェクト ・ SFTヘルシープロジェクト(赤ねこ大福・おからサブレなど)

幼稚園講座

地域活動:PTA・育成会研修・自治会・サロン・いきいき百歳体操

子どもステーション

アレルギー対策

外来栄養指導

訪問栄養指導 5市町7カ所

7市町村地域ケア会議 訪問C事業 研修など

南河内食のネットワーク ・ 在宅栄養支援の勉強会

レシピ開発・講演会・学術活動など

～いただきますのお手伝い～はみんぐ南河内

オナカマフードパントリー

フードパントリーの様子

多くのご寄付ありがとうございました！



食品の袋の中は…



手作りのカバンや雑巾



あそび場

子ども達の笑顔があふれました(^_^)



お届けケアマネ

お帰りの際に荷物を運びにくい方には羽曳野市のケアマネジャー部会と一緒に荷物をお家までお届けします

オナカマ食ロスプロジェクト

食ロスマークがついた商品を購入することで売上金の一部がオナカマプロジェクトに寄付されます

一例

[ネットSHOP in 大市](https://daiichichinmi.shop-pro.jp)

<https://daiichichinmi.shop-pro.jp>



このマークが目印
応援よろしく
お願いします！

Smile For Two プロジェクト

健康的な食品の開発支援と
売上げの一部を地域の子ども食堂や
オナカマプロジェクトに寄附する
笑顔の循環の取り組み

管理栄養士監修・糖尿病の方にも優しい
新しいカタチの和菓子のご提案

赤ねこ大福6個お買い上げの方に
「おからサブレ」1枚プレゼント

7月3日(土)に販売

小麦・発芽玄米・もち米・小豆

食物繊維が豊富
管理栄養士監修

Smile For Two

HABIKINO SFT

1個 80kca

話題沸騰中!

おからサブレ

糖尿病の方も食べやすい、健康志向のサブレ
このサブレを食べながら楽しく運動するのではありません。

管理栄養士監修・現役大学生デザイン・あん庵製造

おからサブレよろしくお願ひしますm(_ _)m



- ①一般のサブレに比べ、
糖質30%、コレステロール70%OFF
- ②脂質や糖質の吸収を抑える食物繊維
をたっぷり強化
- ③アーモンド入りで血液サラサラ成分
であるビタミンEが豊富
- ④オリーブオイルを使って
1枚当たりオレイン酸500mg以上
- ⑤糖尿病の方も食べやすい1枚80kcal

5枚入り750円+税 売り上げの3%をオナカマ食堂に寄付

R2年12月～R3年4月末まで 販売枚数 1000枚

オナカマ食堂への寄付 4860円

ネット注文・地方発送 可能です 和菓子工房あん庵

072-950-1122

オナカマ食べようプロジェクト

distribution of food and daily necessities for free

「オナカマ食べようプロジェクト」=同じ釜の飯を仲間で食べようプロジェクト
いろいろな困りごとや不便を抱える方へ寄付いただいた食材・日用品を無料で提供
「フードパントリー」は食品などの配布のみならず
つながりをつくる場となることを目指しています

第1回（H3.8.1）～第4回（H4.7.31）

ご寄付：個人、企業、団体など

内 容：食品（お米 野菜 飲料レトルト食品 乾麺 調味料 おやつなど）
日用品（マスク 衛生用品 衣料品 洗剤 手作り品など）・寄付金

場 所：コープ診療所 ・ 羽曳野市緑と市民の協働ふれあいプラザ（エコプラザ）

配布数：4回合計1050人分（米、食品のセット）

※後日配布連携先：羽曳野市社会福祉協議会生活困窮

・ 杜の灯珈琲（藤井寺市社会福祉協議会）・ 四天王寺大学

後援：羽曳野市・羽曳野市教育委員会・羽曳野市社会福祉協議会・藤井寺市社会福祉協議会

助成：2022年度日本郵便年賀寄付金助成事業